

同時開催
コレクション展

没後50年

横山操展



〈十勝岳〉1962年

所蔵品全点を一挙公開



新潟県西蒲原郡吉田村(現在の燕市)に生まれた横山操(1920~1973)は、画家を志して上京、20歳の時に川端龍子の主宰する青龍展に初入選しました。復員後同展で受賞を重ね、1962年の青龍社脱退後は無所属で活躍し、多くの意欲作・話題作を発表、戦後日本画壇を代表する一人となりました。多摩美術大学教授として後進の指導にもあたりましたが、脳卒中で倒れて半身不随となり、1973年に53歳の若さで亡くなりました。当館では、青龍展で最高の青龍賞を受賞した《炎々桜島》(1956年、幅454cm)や青龍社脱退のきっかけとなった《十勝岳》(1962年、幅639cm)を初め、横山操の大規模作品を多数所蔵しています。画家の没後50年を記念する本展では、当館所蔵作品全68点(『中央論』表紙絵36点を含む)を一室で紹介し、現代に相応しい日本画表現を探求し続けた横山操の創作の軌跡を振り返ります。

他館所蔵品の特別展示も



1.《炎々桜島》1956年 / 2.《高速四号線》1964年 / 3.《雪峽》1963年 掲載作品はすべて当館蔵

熱情と奮激、これが俺の人生だ

2023

4月11日(火) - 6月18日(日)

9時~17時 ※観覧券の販売は16時30分まで。

〔休館日〕月曜日 ※ただし、5月1日(月)は開館します。

観覧料 一般430円(340円)
大学・高校生200円(160円)
中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金です。
※大学・高校生は学生証を提示してください。
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。手帳をご提示ください。
主催：新潟県立近代美術館 後援：長岡市 長岡市教育委員会

【関連イベント】

・美術鑑賞講座
「いつか見たい 日本画家・横山操の傑作 30選」

〔日時〕5月27日(土) 14:00~15:30

〔講師〕長嶋 圭哉(当館主任学芸員) [会場] 当館講堂

※参加無料、申し込み不要、定員165名
※会場に直接お越しください。
参加される際に氏名・連絡先のご記入をお願いします。

・学芸員による作品解説会

〔日時〕4月15日(土)、5月6日(土)、6月3日(土)

14:00~14:30

※申し込み不要、要コレクション展観覧券
※開始5分前にコレクション展示室へお越しください。
参加される際に、氏名・連絡先のご記入をお願いします。

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART 千940-2083 長岡市千秋3丁目278-14
新潟県立近代美術館 TEL:0258-28-4111 <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>
Twitter:@niigata_kinbi Instagram:niigata_kinbi

橋本龍美展

望郷の画家
新潟県立近代美術館 開館30周年記念

2023 4月15日(土) - 6月4日(日)

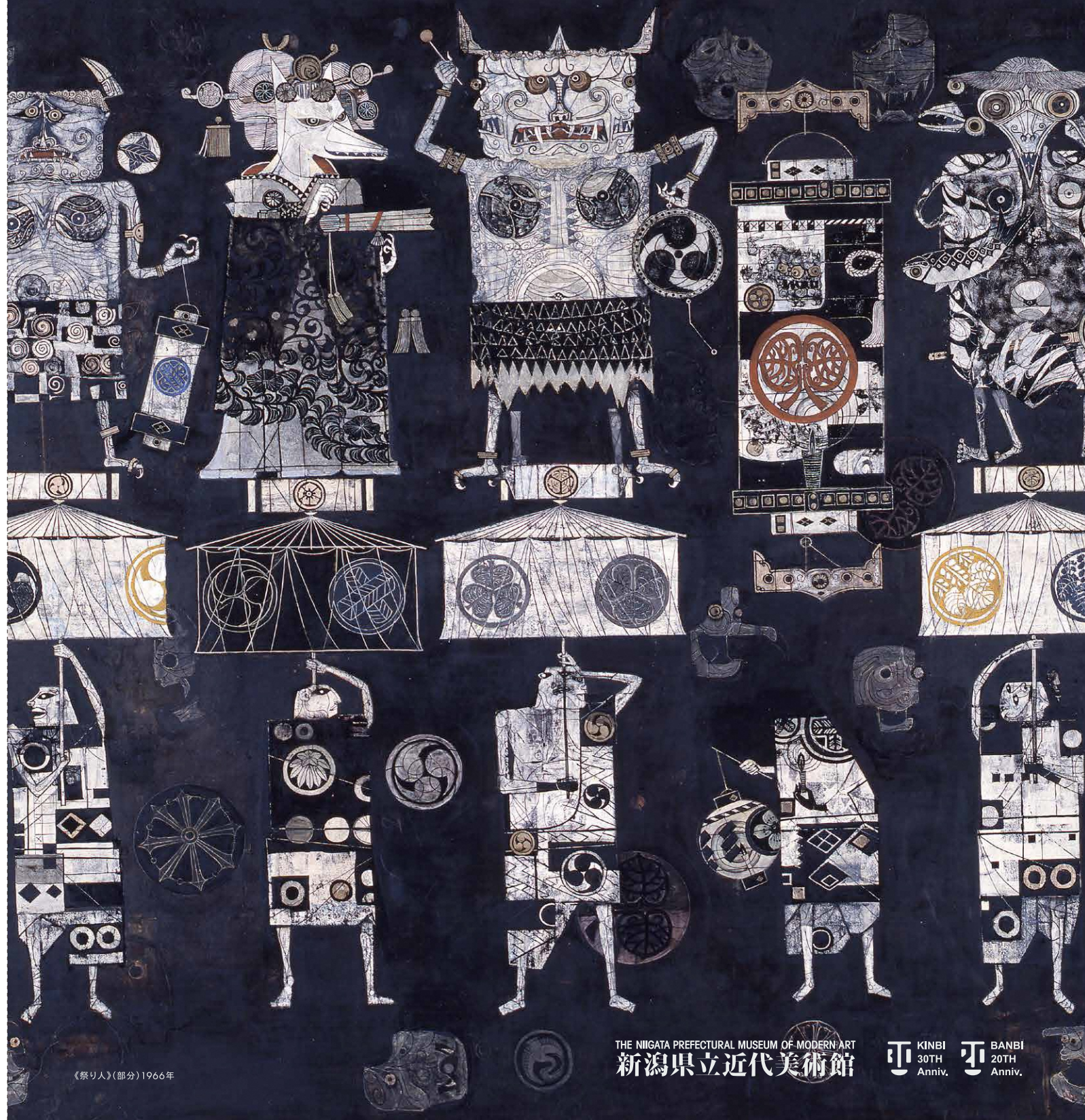
9:00~17:00 ※観覧券の販売は16:30まで。

〔休館日〕月曜日 ※ただし、5月1日(月)は開館します。

〔観覧料〕一般1,200円(1,000円) 大学・高校生1,000円(800円) 中学生以下 無料

※()内は有料20名以上の団体料金です。 ※大学・高校生は学生証を提示してください。
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。手帳をご提示ください。 ※前売券はありません。

主催：新潟県立近代美術館
協力：加茂市 加茂市教育委員会
後援：新潟県教育委員会 長岡市 長岡市教育委員会 新潟日报社 朝日新聞新潟総局 毎日新聞新潟支局
読売新聞新潟支局 日本経済新聞社新潟支局 長岡新聞社 NHK新潟放送局 BSN新潟放送 NST新潟総合テレビ
TeNYテレビ新潟 UX新潟テレビ21 NCT FM新潟77.5 FMながおか80.7



《祭り人》(部分)1966年

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART
新潟県立近代美術館

KINBI 30TH Anniv. BANBI 20TH Anniv.

龍美展

望郷の画家
新潟県立近代美術館開館30周年記念

橋本龍美(本名誠吉)は、加茂市出身の日本画家です。幼いころ忙しかった母に代わり乳母によって育てられた誠吉少年は、毎夜乳母が語ってくれる夜噺に心をふるわせ、また年に一度の青海神社の祭の華やかさ、またそこで掛かる見世物小屋の蛇娘やサーカスに心ときめかせ、そして四季折々の自然を満喫しつつ、多感な少年時代をすごしました。独学により画家を志した龍美は、新制作協会の日本画部に出品、やがてその独特の画風により受賞を重ね、中央画壇に躍り出ます。「新世代の登場」と高い評価を得た背景には、幼い頃に体験した、夜噺に登場する魑魅魍魎たちや、加茂祭の賑わいと興奮がありました。

創画会の創立会員になってからも、龍美は、夜を跋扈する妖怪たちをユーモラスに描き、そして次第に懐かしい故郷の自然とそこに暮らす人々の姿も描くようになります。その根っことはすべて幼い時代の原風景であり、さらにそこには森羅万象に神が宿るといふ日本古来の宗教観が存在するものと思われまふ。

このたび、平成28年に亡くなった橋本龍美の没後初めてとなる大規模な回顧展により、その画業を振り返ります。〈異色の作家〉と呼ばれた橋本龍美が描く絵画世界は、観れば観るほど新しい発見があります。魅力的なユーモアあふれる独自の世界をお楽しみください。

1.《祭り人》部分 1966年 / 2.《よんよこ》1966年 / 3.《祭郷の唄》1980年 / 4.《カラスウリ》1970年 / 5.《メツチャカおんど》2002年 / 6.《風之唄》および部分 1981年 当館蔵 / 7.《望郷四季》1986年 / 8.《冬門》1975年 / 9.《百本足寺》1972年 / 10.《神馬》1979年 / 11.《冬之門》1994年 加茂市蔵 / 12.《八蛙八踊》部分 1986年 加茂商工会議所蔵



神も、庶民も、バケモノも

【関連イベント】

申込先: TEL.0258-28-4111
氏名・連絡先のご記入をお願いする場合があります。

・ギャラリートーク

展示室で、橋本龍美の作品を、楽しくわかりやすく解説します。
【日時】4月16日(日)、5月14日(日)、6月4日(日)
各14:00~

【講師】宮下 東子(当館専門学芸員)
【会場】企画展示室 ※申し込み不要、要観覧券

・ワークショップ

「さがすとみつける 作者のココロがみえてくる!?!」
橋本龍美の作品をじっくりとみると、いろんなものを発見できます。みんなで見つけたものを教え合い、楽しく語り合いましょ。きっと、よりたくさん魅力が見つかりますよ。

【日時】5月1日(月) 14:00~
【ナビゲーター】宮下 東子(当館専門学芸員) 【定員】10名
【会場】企画展示室 ※要事前申し込み、要観覧券

・こどもワークショップ

「お絵描き好きな子集まれ 変身!お化け地蔵」
橋本龍美が描くお地蔵さんは、キツネや妖怪が化けている?いや、お地蔵さんが妖怪に化けている!? 紙をパタンと倒して変身、そんなお地蔵さんを描いて遊みましょう。

【日時】5月5日(金・祝) 14:00~16:00
【対象】小学生(保護者参加可) 【定員】10名
【講師】宮下 東子(当館専門学芸員) 【会場】ロビー ※要事前申し込み、高校生以上は要観覧券

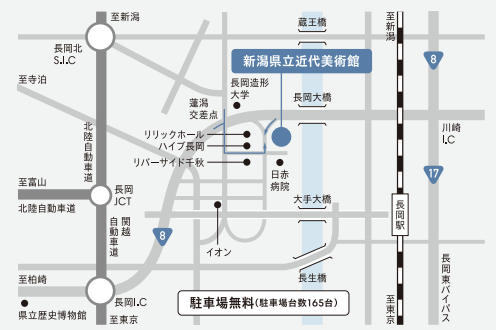
・美術鑑賞講座

「橋本龍美の世界 一神も、庶民も、バケモノも」
橋本龍美の人と作品について詳しくお話しします。
【日時】5月20日(土) 14:00~15:30
【講師】宮下 東子(当館専門学芸員) 【定員】165名
【会場】当館講堂 ※申し込み不要

同時開催 コレクション展第1期「没後50年 横山操展」
2023年4月11日(火)~6月18日(日)
※コレクション展をご覧になる場合、別途コレクション展観覧券が必要です。

【次回の展覧会】
「フランス・モダン・ポスター展 一華麗なるベルエポック」
2023年7月1日(土)~8月27日(日)
【新潟県立万代島美術館(新潟市)の展覧会】
TEL:025-290-6655
「糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。」
2023年5月20日(土)~7月17日(月・祝)
来館の際にはマスクの着用にご協力をお願いいたします。

【交通案内】



- 新幹線・在来線: JR長岡駅下車
- バス: [長岡駅大手口8番線] 中央環状線「くるりん」内回り「県立近代美術館」下車(乗車約15分)すぐ [長岡駅大手口2番線] センタープラザ・日赤病院方面行「日赤病院前」下車(乗車約15分)から徒歩5分
- 車: [関越自動車道]長岡ICから約10分 [北陸自動車道]長岡北S.LCから約10分

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART
新潟県立近代美術館

〒940-2083 長岡市千秋3丁目278-14
TEL:0258-28-4111 <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>
Twitter: @niigata_kinbi Instagram: niigata_kinbi

